

新年度がスタートしました。始業式、入学式に続き、交通安全教室、避難訓練、新入生歓迎会と年度当初から行事が次々と行われます。一つ一つにしっかりと向き合い、自分を成長させていってください。今年度も、皆さんの成長と進路選択の役に立てるように進路だより「道しるべ」を発行していきます。将来、社会人・職業人として自立していくために必要な力を身に付けるためのヒントや情報を伝えています。

■ 3年間で学びながら伸ばしたい4つの力

中学校までは義務教育です。卒業後はそれぞれの進路を歩んでいきます。その進路を卒業学年の3年生から考えるのではなく、1年生から考えていくことによって、より自分の適性に合った進路を見出することができます。そして、将来に向けて見通しをもつことは、今の生活を見つめる機会にもなります。それは、将来の夢を実現するために、今、何が必要で何に取り組まなければいけないかが見えてくると思います。



そこで、みなさんが将来、社会の中で自らの可能性を伸ばし、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓き、よりよい地域・社会の創り手・担い手となっていくために、自分らしい生き方への実現に向けて中学校3年間で以下の4つ力をさらに伸ばしていけるよう学習していきます。

【人間関係形成・社会形成能力】

多様な他者の考え方や立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、社会を積極的に形成する力。

【例】

コミュニケーション・スキル、チームワークなど

【自己理解・自己管理能力】

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会と相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力

【例】

自己の役割の理解、前向きに考える力など

【課題対応能力】

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決する力。

【例】

情報の理解・選択・処理等、課題発見、計画立案、評価・改善など



【キャリアプランニング能力】

「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連をふまえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に適応する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

【例】

学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、将来設計など

進路学習～3年間で学ぶこと～

進路学習は、生き方や職業観・勤労観、将来設計など、将来の生き方と進路選択に関する学習です。つまり、社会人として自立していくために必要な学習です。

学級活動や総合的な学習の時間を中心に学習します。その基礎となる知識や態度は、9教科の学習や道德、行事、清掃活動、部活動等を通して学んでいきます。

3年間の進路学習の目標は、次のようにになっています。

- 1学年 自己理解「自分を知る」
- 2学年 自己啓発「社会を知る」
- 3学年 自己実現「進路を選択する」

自分のよさを知り、将来の夢や、行いたいことを見つけ、そのための一歩が踏み出せるよう、しっかりと学習していきましょう。

